

● 病院概要

- 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 田中 納次
- 病院長名 山岸 文範
- 標榜診療科目

内科、循環器内科、小児科、外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、精神科、麻酔科、心血管外科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、救急科、リハビリテーション科、放射線科、歯科

使用許可病床数	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	261床	226人

- 一日平均外来患者数 618人
- 年間手術件数 1,219件
- 病院併設施設 健診センターすこやか、訪問看護ステーションいといがわ
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況

日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本脳外科学会、日本眼科学会、日本麻酔科学会、日本内科学会、日本がん治療認定医機構、日本消化器外科学会、日本透析医学会、日本消化器内視鏡学会、日本乳癌学会



◆ Access



照会先
 総務課 山崎 麻美
 TEL 025-552-0280 FAX 025-552-3819
 E-mail somu4@itoigawa-hp.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法 氏名、大学名、学年、見学希望日、見学希望診療科を明記の上、メールにてお申し込みください。

- えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン えちご押上ひすい海岸駅下車
- えちご押上ひすい海岸駅から徒歩15分
- 押上一丁目からバス5分 糸魚川総合病院行き

医学生の皆様へ

Something of everything!

明治の教育者、新渡戸稲造の言葉です。若い人は最初から専門領域を勉強するのではなく、初めはできる限り全ての領域を少しずつ勉強しなさいということです。しかしただ広いだけでは不十分で学ぶための骨格がしっかりしていなければなりません。

1、プロフェッショナリズム 2、診断推論と治療推論 3、医療手技
 これが糸魚川総合病院の考える骨格です。そのために頻りに国内、海外の指導医を招聘し、ベッドサイドではone minute lectureという効果的な教育をおこなっています。

さらに基幹型研修医は一人で年間700症例をERでfirst touchします。糸魚川市はその地域性から救急で治らなかった患者は確実に糸魚川総合病院に再診します。後日、カルテをひらけば君の診療の結果が必ずわかるので、振り返りの検討会がとても有効です。火曜日は知識を得るための勉強会、月曜日は1症例を用いた臨床推論、平日午後5時から連日開催しているER検討会では、ER経験症例をすべて振り返ります。

見学に来ていただければわかりますが、この病院では多くの人が和気あいあいとした雰囲気の中、努力・時間・知恵を研修医や医学生への教育に投資し続けています。その結果として私たちが提供する初期臨床研修は教育とそれによって保証されるプライドをみなさんに提供します。



院外講師による教育回診



CPVSコース



研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2021年度研修医)

● 目的

救急を含めた一般臨床能力を身につけることを目的としています。特に問診、バイタルサイン、視触診等を重視しています。

● 特徴

ER研修、救急検討会、レクチャー、外国人を含めた外部講師による教育回診と各科研修のリンクが特徴です。

週	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(消化器、循環器、腎臓、代謝)(28週)								外科(8週)	麻酔科*(4週)	救急(8週)	
2年次	整形外科** (4週)	小児科(8週)		産婦人科(8週)		地域医療(4週)	精神科(8週)	選択研修(16週)				

当院での研修期間中は、平日ER研修を1週間に午前1回午後1回、日当直ER研修を月に当直2回、日直1回研修してもらいます。
 *麻酔科は当院で定めた必修科目として扱います。気道やA-lineの確保、中心静脈カテーテル挿入、循環作動薬の使用など、救急対応に必要な手技・知識を身につけてもらいます。
 **整形外科は救急で対応する疾患が多く、将来の当直業務に不安を抱えないためにも、選択することを勧めています。
 当院での必修科目(48週)・・・内科28週、外科8週、救急8週、麻酔科4週
 当院または他院での必修科目(16週)・・・小児科8週、産婦人科8週
 他院での必修科目(12週)・・・地域医療4週、精神科8週
 選択研修(16週)

■	当院
■	当院または他院から選択
■	他院から選択

● 協力病院

新潟大学医学総合病院、新潟県立中央病院、富山大学附属病院、上越総合病院、佐渡総合病院、新潟県立柿崎病院、さいがた医療センター、獨協医科大学病院、柏崎総合医療センター、新潟県立十日町病院、新潟県立がんセンター新潟病院、けいなん総合病院

● 協力施設

南佐渡地域医療センター、能生国民健康保険診療所、平岩診療所、小滝診療所、根知診療所、名瀬徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、糸魚川保健所

● 保険医療行政

糸魚川保健所
 ※1 地域医療研修について
 ・必修科目である地域医療研修は2次医療圏内の診療所で行います。能生国民健康保険診療所、県立柿崎病院
 ※2 精神科研修について
 ・必修科目である精神科については下記病院のいずれかで行います。富山大学附属病院、新潟大学医学総合病院、さいがた医療センター

● 研修医の待遇 (2021年度研修医)

1年次	月額	基本給：350,000円 当直手当：19,400円/回 時間外手当：厚生連規程により支給 月額平均：500,000円程度 (住宅補助50,000円あり)
		賞与なし
2年次	月額	基本給：380,000円 当直手当：19,400円/回 時間外手当：厚生連規程により支給 月額平均：570,000円程度 (住宅補助50,000円あり)
		賞与なし

2年間20万円まで個人研究費があります。

- 勤務体制 勤務時間 日直：8:30~17:00
当直：17:00~8:30
(1週間に午前又は午後のER研修2回)

- 研修医当直 回数(月平均) 2回/月
当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数) 1人
(当直研修医数) 1人
研修1年目では、原則としてファーストタッチは研修医が行う。指導医が当直の際に一緒に当直し、救急患者の診療について学ぶ。

- 研修医の学習環境
居室 専用の研修医室 有
図書・文献 医局図書室は24時間利用可能
国内図書 約500冊 国外図書 約400冊
国内雑誌 約25種類 国外雑誌 17種類
医中誌Web利用可能
インターネット環境 有

- 研修の宿舎の有無など
宿舎 民間アパートを病院で借り上げ提供
食事 院内に食堂、コンビニ有

